

平成 22 年度第 11 回（通算第 42 回）MT 委員会 議事録

日時: 2011 年 3 月 24 日 13:30-14:50

場所: RIBF 棟 203 会議室

出席: 酒井^a (委員長)、阿部^a、延與^{a,†}、福西^a、神原^{a,†}、上垣外^a、加瀬^a、久保^a、森田^a、本林^{a,†}、櫻井^a、
下浦^b、上野^a、上坂^{b,†}、上藁^a、若杉^a、山口^b(久保野代)

欠席: 久保野^b、寺西^{c,†}、吉田^{a,†}

^aRNC / ^bCNS / ^cRIBF-UEC / [†]observer

(順不同・敬称略。以下同様)

【報告】

1. MT変更 (上野)

- 地震による影響でセンター長指示により次のMTをキャンセルした。
 - ML0901-RRC20-7 (M. Izumi), Mar./11/9:00 – 18:00
 - NP0702-RRC01-26 (M. Wada), Mar./12/21:00 – Mar/14/9:00また、次の予定は延期された。
 - 3/14から予定されていたSRCを用いた¹²⁴Xeコミッションング
 - RILAC2施設検査
- 4月以降、比較的早い時期に輪番停電が解消されたとしても上期に再割り当ての可能性は無いと判断し(議題 2. 参照)、次の4月のBigRIPS実験 2つのMTはキャンセルした。
 - NP0906-RIBF16-2 (T. Kobayashi), Apr./8/21:00 – Apr./11/21:00
 - NP0906-RIBF07-1 (E. Ideguchi), Apr./30/21:00 – May/4/21:00

2. PAC 進捗状況 (酒井)

- 9th NP-PAC: 上期のMT変更方針を議論していたため予定よりやや遅れたが、通常通り課題募集することとした。なお、募集案内の基幹設備の項では、SAMURAIを新たに加えCRIBは削除する。

【議題】

1. 前回議事録承認 (酒井)

2. FY2011上期MT変更について

- 輪番停電が比較的早い段階で解消されない場合のMT案(酒井)
 - CGSによる自家発電で電力を賄える実験を実施する(SRC利用実験・テストは実施不可)。
 - 手始めに4/2(土)から、平日の夜間と土日を利用し森田実験から始める。但し、施設から緊急負荷調整依頼があればその都度CGSを系統連系させ、MTは中断する。
 - 生物照射(AVF-RRC-E5)は5月初旬までに実施しないと田植えに間に合わないという事情がある。CGS発電への需要と供給を急ぎ検討しMT実施可否を判断する。
- 輪番停電が比較的早い段階で解消された場合のMT案(上野)
輪番停電が(a)4月中旬に解消された場合、(b)5月初旬に解消された場合、及び(c)5月中旬に解消された場合の3つの案が提示された。いずれもSRC/BigRIPS再冷却に一ヶ月、RIBF 加速試験に3週間程度必要であることを考慮すると、BigRIPS関連実験のうち割り当ての可能性のあるMT

は:(a)ではAVF入射2課題、(b)ではAVF入射1課題、(c)では課題消化不可。

- 上記いずれのケースでも5月の ^{124}Xe BigRIPS MT は実施不可であるため、キャンセルとすることが決定された。

3. MT委員会委員の変更 (酒井)

- 新年度より下記の委員変更が行われることとなった
 - 仁科加速器研究センターRIビームファクトリーマシントイム委員会細則 第4条(9) に基づき、延與センター長が上坂新主任研究員を新委員に指名した(延與)。
 - 同細則第5条に基づき、MT委員会委員長が、羽場新TLを新オブザーバ委員に指名し、神原オブザーバ委員と交代する。

4. その他

- AVF 利用の実験について: Super ECRが地震による損傷で修理の予定。当面 Hyper ECR しか使えない(加瀬)。
- 4月初旬に配分されていたBigRIPS実験の為に移動していたQ磁石を、分散整合ラインに戻してよいかとの問い合わせがあった(久保)。この実験は、今後、SHARAQ実験よりも早い時期にMT配分される見込みが無くなったため、分散整合ラインに戻すこととした。
- 地震の為に中断した安全審査委員会は3/29に再開される。

5. 次回MT委員会の日程

- 次回MT委員会は 4/15(金) 13:30 で調整。

(以上)